

黒田原地域商店街活性化対策
自転車映画祭（キッズダンス）



グリーンハイツ田中分譲地



定住対策のため町有地の利活用は

齊藤隆則

町 若者が興味を持てる住環境の整備を検討

問 国も対策に力を入れ始めた少子化問題、本町においての若者定住化対策に賃貸住宅の増加が必要であると思うが、町有地の有効利用は。

総務課長 本町に若者への住環境が不足していることは承知している。定住化の推進には町有地の活用も

対策の一つであると考え。今後「ふるさと定住課」ができるので、そこを中心に研究していきたい。

問 「グリーンハイツ田中」の未販売地の有効利用ができないか町の考えは。

建設課長 平成10年に分譲を開始してから現在まで57区画中36区画が販売済み

となつてはいるが、ここ数年分譲が進まない年度もある。子育て支援の減額制度も効果がなかなか上がらない状況である。残りの21区画の完売を目指しながら、若者定住に資する形で利用を今後調査する。

黒田原活性化対策は

町 関係機関と連携して活性化を探る

問 10月に黒田原駅前において民間主催の「黒田原自転車映画祭」が開催された。地域活性化に向けたイベントでしたが、今後、駅前を中心とした活性化の取り組みについて町の考えは。

町長 今回の企画は住民の皆様の自主的な運営であ

ったこと、また、地元の施設にスポットを当て新たな魅力を生み出したことが、今までにない素晴らしいイベントだと思う。これから活性化を目指して今回の運営者や関係機関と協議を進めていく。

問 中心市街地対策として今後の活性化プロジェクト

クトについて町の考えは。

観光商工課長 今回の那須フィルムコミッションと地元商店会のコラボと新しい動きが出てきている。今後もソフト事業を中心に、駅舎や黒田原の資源をいかした振興策を研究していく。